



2020年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年11月11日

上場会社名 上村工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4966 URL <https://www.uyemura.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 上村 寛也
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 阪部 薫夫 TEL 06-6202-8518
 四半期報告書提出予定日 2019年11月11日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	24,335	△3.3	3,380	△16.3	3,477	△18.6	2,445	△11.3
2019年3月期第2四半期	25,163	10.3	4,038	4.6	4,272	8.3	2,758	5.6

（注）包括利益 2020年3月期第2四半期 1,721百万円（11.1%） 2019年3月期第2四半期 1,550百万円（△42.3%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	271.66	—
2019年3月期第2四半期	306.40	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	76,510	61,514	80.4	6,833.49
2019年3月期	77,943	61,142	78.4	6,792.21

（参考）自己資本 2020年3月期第2四半期 61,514百万円 2019年3月期 61,142百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	0.00	—	150.00	150.00
2020年3月期	—	0.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	160.00	160.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	53,600	3.1	8,300	1.1	8,600	0.5	5,600	△0.9	622.09

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	9,878,040株	2019年3月期	9,878,040株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	876,145株	2019年3月期	876,129株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	9,001,898株	2019年3月期2Q	9,001,917株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	6
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(会計方針の変更)	8
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益が底堅く推移し、雇用情勢や所得環境も緩やかに改善するなど、回復基調が継続しましたが、米中貿易摩擦の長期化への懸念等から景気の先行きに対する警戒感が強まりました。

当社グループの主要市場であるエレクトロニクス市場におきましては、自動車の安全性確保や利便性向上に伴う車載用電子部品の生産数は堅調に推移しましたが、スマートフォン市場は需要低迷による減速傾向が続きました。

このような状況の下、当社グループは、収益力の更なる向上を目指して、高付加価値製品の開発と提案並びに拡販活動に注力してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は243億35百万円（前年同四半期比3.3%減）、営業利益は33億80百万円（同16.3%減）、経常利益は34億77百万円（同18.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は24億45百万円（同11.3%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 表面処理用資材事業

主力のプリント基板用及びパッケージ基板用めっき薬品の売上高は、自動車のカーエレクトロニクス向けは引き続き堅調に推移しましたが、ハイエンドスマートフォン向けが需要減少の影響を受けて前年同四半期を下回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は182億15百万円（前年同四半期比8.2%減）、セグメント利益は29億73百万円（同26.7%減）となりました。

② 表面処理用機械事業

国内の電子部品メーカーや自動車部品メーカーによる設備投資への前向きな動きにより、機械の受注環境が回復し、売上高、セグメント利益ともに前年同四半期を上回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は29億84百万円（前年同四半期比57.1%増）、セグメント利益は1億23百万円（前年同四半期はセグメント損失1億34百万円）となりました。

③ めっき加工事業

日本国内からの事業撤退により売上高は前年同四半期を下回りましたが、タイやインドネシアの連結子会社において、めっき加工の歩留まりが改善し、セグメント利益は増加し、黒字に転換しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は28億18百万円（前年同四半期比10.6%減）、セグメント利益は73百万円（前年同四半期はセグメント損失1百万円）となりました。

④ 不動産賃貸事業

新大阪の賃貸用オフィスビルにおいて、オフィスビルの入居率が改善したことから、売上高、セグメント利益ともに前年同四半期を上回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3億83百万円（前年同四半期比6.1%増）、セグメント利益は2億4百万円（同84.9%増）となりました。

なお、上記のセグメントの売上高には、セグメント間の内部売上高又は振替高が含まれております。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の変動の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ14億32百万円減少し、765億10百万円となりました。主な増加は、建設仮勘定の増加5億40百万円、仕掛品の増加3億70百万円であり、主な減少は、現金及び預金の減少14億67百万円、受取手形及び売掛金の減少10億54百万円、建物及び構築物（純額）の減少3億55百万円であります。

負債合計は、前連結会計年度末に比べ18億3百万円減少し、149億96百万円となりました。主な増加は、賞与引当金の増加1億44百万円、リース債務（流動）の増加68百万円であり、主な減少は、支払手形及び買掛金の減少10億5百万円、未払法人税等の減少4億83百万円であります。

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ3億71百万円増加し、615億14百万円となりました。主な増加は、利益剰余金の増加10億95百万円であり、主な減少は、為替換算調整勘定の減少7億15百万円であります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の78.4%から2.0%増加し80.4%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ13億66百万円減少し、292億26百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によって獲得した資金は16億63百万円（前年同四半期は46億55百万円の資金の獲得）となりました。これは主に、法人税等の支払額14億50百万円、仕入債務の減少額8億99百万円等の資金の使用がりましたが、税金等調整前四半期純利益34億66百万円、減価償却費10億32百万円、売上債権の減少額8億40百万円等の資金の獲得があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動において使用された資金は11億73百万円（前年同四半期は13億10百万円の資金の使用）となりました。これは主に、定期預金の払戻による収入2億85百万円等の資金の獲得がりましたが、固定資産の取得による支出12億43百万円、定期預金の預入による支出2億45百万円等の資金の使用があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動において使用された資金は14億95百万円（前年同四半期は14億70百万円の資金の使用）となりました。これは主に、配当金の支払額13億50百万円、短期借入金の純減少額78百万円等の資金の使用があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2019年5月13日の「2019年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

なお、実際の業績につきましては、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	34,029,803	32,562,267
受取手形及び売掛金	13,694,398	12,639,822
有価証券	37,285	41,560
商品及び製品	2,197,452	2,214,816
仕掛品	2,004,378	2,375,300
原材料及び貯蔵品	1,395,019	1,296,320
その他	1,134,913	1,885,084
貸倒引当金	△90,756	△53,010
流動資産合計	54,402,496	52,962,163
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	20,882,827	20,587,451
減価償却累計額	△12,533,007	△12,593,233
建物及び構築物(純額)	8,349,819	7,994,218
機械装置及び運搬具	10,729,213	10,952,090
減価償却累計額	△8,322,632	△8,669,179
機械装置及び運搬具(純額)	2,406,580	2,282,910
土地	4,691,456	4,655,991
リース資産	235,613	258,399
減価償却累計額	△121,810	△137,009
リース資産(純額)	113,803	121,389
建設仮勘定	1,874,685	2,415,652
その他	5,084,699	5,302,090
減価償却累計額	△3,848,718	△4,015,051
その他(純額)	1,235,980	1,287,038
有形固定資産合計	18,672,326	18,757,200
無形固定資産	269,301	259,263
投資その他の資産		
投資有価証券	3,768,139	3,745,091
退職給付に係る資産	83,983	79,499
繰延税金資産	268,048	263,756
その他	548,250	511,846
貸倒引当金	△69,513	△68,302
投資その他の資産合計	4,598,908	4,531,891
固定資産合計	23,540,536	23,548,355
資産合計	77,943,032	76,510,518

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,866,067	1,860,103
電子記録債務	4,057,985	3,745,611
短期借入金	511,503	476,219
1年内返済予定の長期借入金	41,813	—
リース債務	54,715	123,436
未払法人税等	2,687,876	2,204,723
賞与引当金	152,879	297,068
役員賞与引当金	166,650	83,325
その他	2,238,815	2,129,063
流動負債合計	12,778,309	10,919,552
固定負債		
長期預り保証金	608,068	618,237
リース債務	93,333	157,597
繰延税金負債	2,131,537	2,120,256
役員退職慰労引当金	205,525	176,365
退職給付に係る負債	720,210	733,633
その他	263,158	270,514
固定負債合計	4,021,833	4,076,604
負債合計	16,800,142	14,996,157
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,336,936	1,336,936
資本剰余金	1,269,750	1,269,750
利益剰余金	58,382,870	59,478,076
自己株式	△3,327,258	△3,327,362
株主資本合計	57,662,299	58,757,401
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	717,304	705,819
為替換算調整勘定	2,780,323	2,064,705
退職給付に係る調整累計額	△17,036	△13,565
その他の包括利益累計額合計	3,480,590	2,756,960
純資産合計	61,142,889	61,514,361
負債純資産合計	77,943,032	76,510,518

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	25,163,119	24,335,532
売上原価	16,137,341	15,938,193
売上総利益	9,025,778	8,397,339
販売費及び一般管理費	4,987,461	5,017,054
営業利益	4,038,316	3,380,285
営業外収益		
受取利息	53,311	72,110
受取配当金	34,870	36,931
有価物回収益	33,225	19,558
補助金収入	—	49,106
技術指導料	48,311	7,875
その他	90,298	71,502
営業外収益合計	260,017	257,083
営業外費用		
支払利息	9,373	6,865
為替差損	3,308	123,447
支払手数料	7,424	6,744
その他	6,055	22,925
営業外費用合計	26,162	159,982
経常利益	4,272,172	3,477,386
特別利益		
固定資産売却益	6,083	2,165
特別利益合計	6,083	2,165
特別損失		
固定資産除売却損	12,195	12,827
減損損失	122,929	—
特別損失合計	135,124	12,827
税金等調整前四半期純利益	4,143,130	3,466,723
法人税、住民税及び事業税	1,389,105	1,028,471
法人税等調整額	△4,120	△7,240
法人税等合計	1,384,984	1,021,231
四半期純利益	2,758,145	2,445,492
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,758,145	2,445,492
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△19,048	△11,484
為替換算調整勘定	△1,191,397	△715,617
退職給付に係る調整額	2,752	3,471
その他の包括利益合計	△1,207,693	△723,630
四半期包括利益	1,550,452	1,721,861
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,550,452	1,721,861

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	4,143,130	3,466,723
減価償却費	985,290	1,032,835
減損損失	122,929	—
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	6,297	△35,470
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△76,550	△83,325
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	39,833	33,009
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△9,957	4,233
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	7,380	△29,160
受取利息及び受取配当金	△88,181	△109,041
支払利息	9,373	6,865
固定資産除売却損益 (△は益)	6,280	10,732
売上債権の増減額 (△は増加)	270,063	840,472
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△616,786	△459,609
仕入債務の増減額 (△は減少)	711,936	△899,161
その他	△198,447	△775,939
小計	5,312,590	3,003,165
利息及び配当金の受取額	90,492	116,570
利息の支払額	△5,875	△6,641
法人税等の支払額	△742,096	△1,450,063
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,655,111	1,663,031
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△667,782	△245,238
定期預金の払戻による収入	832,806	285,537
固定資産の取得による支出	△1,490,484	△1,243,451
固定資産の売却による収入	22,981	2,671
投資有価証券の取得による支出	△5,665	△5,152
その他	△2,392	32,396
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,310,537	△1,173,237
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△12,168	△78,098
長期借入金の返済による支出	△80,271	—
リース債務の返済による支出	△27,558	△66,701
自己株式の取得による支出	△306	△103
配当金の支払額	△1,350,292	△1,350,286
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,470,596	△1,495,190
現金及び現金同等物に係る換算差額	△377,845	△361,223
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,496,132	△1,366,620
現金及び現金同等物の期首残高	27,645,553	30,593,368
現金及び現金同等物の四半期末残高	29,141,685	29,226,747

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(IFRS第16号「リース」の適用)

第1四半期連結会計期間より、当社グループのIFRSを採用する在外子会社は、IFRS第16号「リース」を適用しております。これにより、借手は原則としてすべてのリースを貸借対照表に資産及び負債として計上しております。当該会計基準の適用にあたっては、当社グループは経過措置として認められている、累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。

当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 2
	表面処理用 資材事業	表面処理用 機械事業	めっき加工 事業	不動産賃貸 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	19,772,742	1,868,883	3,152,927	361,979	25,156,532	6,587	25,163,119	—	25,163,119
セグメント間の内部 売上高又は振替高	70,845	30,580	394	—	101,820	—	101,820	△101,820	—
計	19,843,587	1,899,464	3,153,321	361,979	25,258,353	6,587	25,264,940	△101,820	25,163,119
セグメント利益又は 損失(△)	4,057,898	△134,473	△1,143	110,530	4,032,811	5,504	4,038,316	—	4,038,316

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ロイヤルティ収入を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の合計は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「めっき加工事業」セグメントにおいて、122,929千円の減損損失を計上しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額	四半期連結 損益及び包 括利益計算 書計上額 (注) 2
	表面処理用 資材事業	表面処理用 機械事業	めっき加工 事業	不動産賃貸 事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	18,193,471	2,933,701	2,818,207	383,949	24,329,329	6,202	24,335,532	—	24,335,532
セグメント間の内部 売上高又は振替高	22,223	51,280	—	—	73,504	—	73,504	△73,504	—
計	18,215,695	2,984,981	2,818,207	383,949	24,402,834	6,202	24,409,037	△73,504	24,335,532
セグメント利益	2,973,807	123,776	73,177	204,394	3,375,156	5,129	3,380,285	—	3,380,285

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ロイヤルティ収入を含んでおります。

2. セグメント利益の合計は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と一致しております。